

USB ダンパーの導入(12)

－中間総括－

1. 始めに

前報(11)までの USB ダンパーの導入経過の総括を行います。

2. USB ダンパーの試聴結果

前報(1)から前報(11)までの報告をまとめると次のようになります。

適用対象は、信号ラインに特化し、ラック内の位置関係など適用の作業性とポートにガタがあるようなところを選んでいきます。

使用する機器としては、再生機器は、PC、fidata HFAS1-S10、iPad、micro iDSD 等、ストリーミング再生は、BPODCH、Spotify、PrimeSeat 等、ストレージは、外付け HDD、外付け SSD、USB メモリー、SD カードとリーダー、中継器は USB Hub、ノイズフィルターの ES-OT4、Apple の Lightning/USB 変換器、ノイズフィルターの FIDERIX HiFi USB 等を使用し、下記のような箇所に使用してみました。

機器の入出力

PC の LAN 入力ポート

PC の USB 入出力ポート

DAC の USB 入力ポート

ストレージ

外付け HDD から ES-OT4 への USB 入力ポート

外付け HDD から PC への USB 入力ポート

外付け SSD から PC への USB 入力ポート

USB メモリーから PC への USB 入力ポート

SD カードのリーダー差し込みポート

SD カードリーダーから PC への USB 入力ポート

中継機器の入出力

USB Hub の入出力ポート

Lightning/USB 変換器の USB 出力ポート

FIDERIX HiFi USB の入出力ポート

音源としては、ストリーミング再生の他、CD 再生、ハイレゾファイル音源再生などです。

どの適用箇所についても効果があり、恐らくは入出力端子の接点の振動の調整に資

しているものと推測されます。

3. USB ダンパーの効果のまとめ

どの適用箇所についても効果があり、恐らくは入出力端子の接点の振動の調整に資しているものと推測されました。適用対象による程度の差や音源による音楽の再生パフォーマンスの違いはあれ、共通するのは音楽の表情がより鮮明に現れるようになることです。

今回、分かったこととして、再生機器はもちろん、ストレージやノイズフィルターなどの中継機器の入出力ポートなど、サブ的なものでも効果があるということです。

なお、USB ダンパーの効果は VRA-7 の効果には似たところがあります。音量が上がったよう、音楽の細かいニュアンスがわかるようになった、等々です。VRA-7 は可変抵抗の接点の振動の調整、USB ダンパーは USB 端子や LAN 端子や SD カードの差し込みポートの接点の振動の調整に役立っているように思われます。このような接点に振動があれば、接触抵抗が変動し、流れる電流値が変動して、音楽信号が振られます。ですから、微小な振動でも、整振する意味があるように思われます。端子の接点については、導通剤を塗布したり、振動吸収テープを貼ったり、しぼりつけたりと、いろいろな対策が採られてきましたが、一方ヴォリュームの方はこれまで手つかずの対象だったように思います。

感覚的な話をしますと、VRA-7 の効果は制振作用より、整振作用と言った方が、的を得ているのではないかと思います。一方、USB-ダンパーはミュージカルチューニングシートというべきではないかと指摘されている方もおられます。改めて検索しますと、tuning は、調律、同調、調弦などの意味でドレミを合わせることのようなのですが、整音に当たるのは、音楽用語の voicing で〔楽器の〕整音、最終調整という意味のようです。物理的なメカニズムは別として、感覚的には、VRA-7 も USB-ダンパーも Voicing Goods と言ったほうがいいのかと思われま

以上